

博士前期課程 体育科学学位プログラム

養成する人材とディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの関係

養成する人材

体育スポーツに関する幅広い学識ならびに専門知識を習得し、体育スポーツの高度な指導力を有する指導者ならびに体育スポーツに関する専門知識と研究能力をもった高度職業人を養成する。

例

スポーツマネジメントに係わる高度職業人

スポーツ・武道・舞踊に関する高度な能力を有する中学校・高等学校教員

体育スポーツ科学の研究者

中学校・高等学校教員

高度な指導能力を有する指導者

体育・健康・スポーツに関する基礎的知識をもった高度職業人、ジャーナリストなど

ディプロマ・ポリシー

本学大学院学則に規定する所定の年限以上在学し、本学の教育研究の理念と目的に沿って設定した所定の単位を修得し、修士論文の審査および試験に合格した上で、次の能力を有することが認定されたものに修士(体育科学)の学位を授与する。なお、修士論文の審査基準については別に記載する。

体育スポーツ科学に関する幅広い学識

体育スポーツ科学に関する高度な専門的知識

体育スポーツの指導者としての基礎的能力

体育スポーツ科学の発展に寄与する研究者としての基礎力

国際社会に貢献する意志とコミュニケーション力

カリキュラム・ポリシー

①体育学研究科共通科目(必修 10単位)
体育スポーツ科学に関する幅広い学識を身につける。特に体育スポーツ科学研究法では、統計学の基礎、各分野の研究法概論、研究倫理について学ぶ。研究報告演習では、自身の研究内容を他コースの院生にも理解できるように発表する能力、他分野の研究を理解しディスカッションできる能力などを身につける。

②基礎科目(選択必修 6単位)
各コース(体育スポーツ文化社会学、スポーツマネジメント、トレーニング科学、健康スポーツ医科学、身体教育・健康教育)の学識と専門的知識、研究法を学び、基礎的能力を身につける。

③展開科目(選択 10単位以上)
体育スポーツ科学に関する幅広い学識と専門的知識を広げる(横の発展)、あるいは後期課程に進学を希望する場合は専攻コース(学領域)の専門性をより高める(縦の発展)。

④研究指導科目(必修 4単位)
研究テーマに特化した研究法、学会や学術誌への発表方法などを学び、修士論文の作成に向けた研究指導を受ける。

授業以外の活動

学内発表会

論文投稿

計測

勉強会とセミナー

体育スポーツ指導

TA(ティーチングアシスタント)

国内外の学会発表

調査

実験

データ分析

共同研究

他大学連携事業

情報機器の操作